

# 住民、民間事業者、ボランティアとの連携 ～地域集積所からの早期撤去を目指して～

倉敷市環境リサイクル局リサイクル推進部一般廃棄物対策課

大瀧 慎也



## 序論

大規模災害が起こるとよく聞く「**想定外**」ということば  
「**想定外**」をもたらす主な要因【**社会の変化**】

→ 核家族化、少子高齢化、コミュニティの衰退、人間関係の衰弱  
ニーズの多様化、プライバシー意識、行革、民間委託  
こうした【**社会の変化**】を社会全体で受け止め、未来を切り開く  
新しい社会をつくる取組みが ～ **SDGs** ～

## 新しい社会をつくる方法



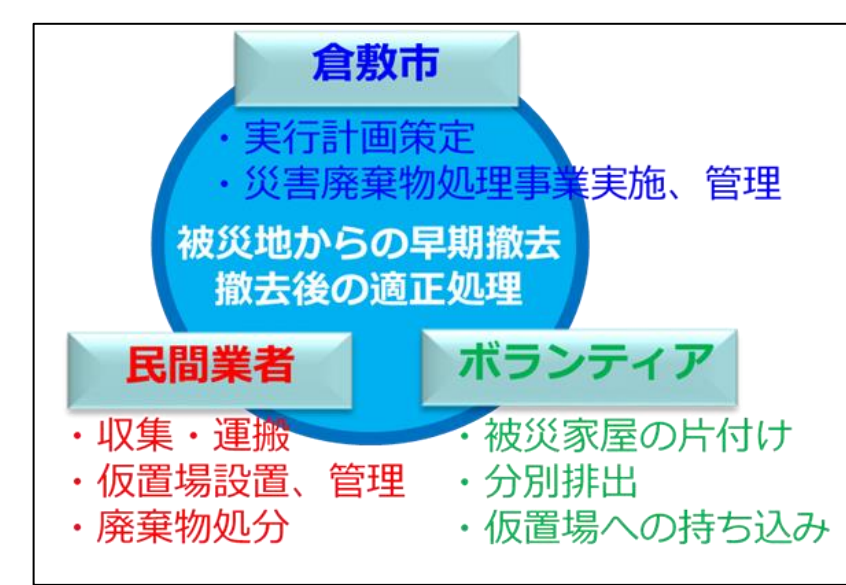
## ヒアリング・官民連携会議



ヒアリング（片付けの様子）

事象、背景、経緯、因果関係に触れ、「何が起きたか」から一段掘り下げ、「何故そうしたか」を知ることで、み出しの**背景と実情**を知る。

→ 「**行政目線**」から「**被災者目線**」へ



SDGs 災害廃棄物処理官民連携会議

民間事業者、ボランティア等と連携し、初動体制を速やかに構築し、被災地域からの災害廃棄物の早期撤去につながる**地域内のしくみづくり**。

→ **目的の共有**

## 災害廃棄物処理計画・ハンドブック

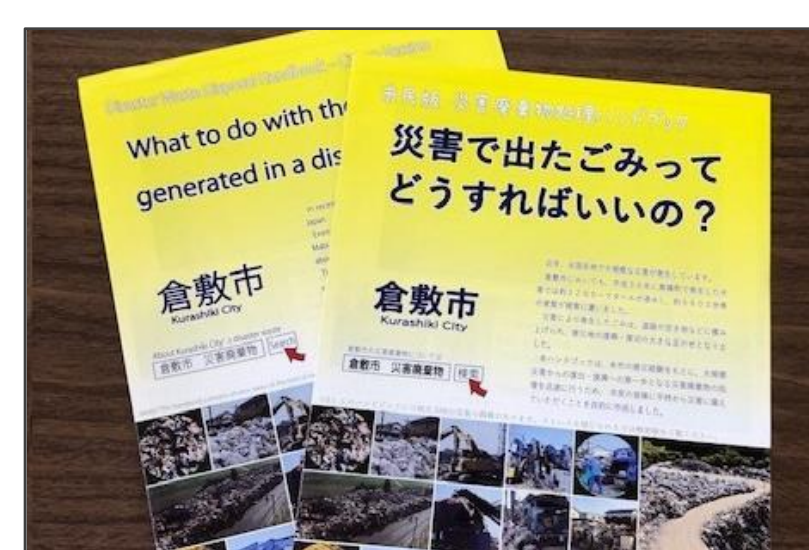


倉敷市災害廃棄物処理計画 R3.3改定版

経験を踏まえた**検証・改定**

- ・業務継続計画（BCP）
- ・災害廃棄物処理初動マニュアル

→ 「**方針**」から「**実務**」へ



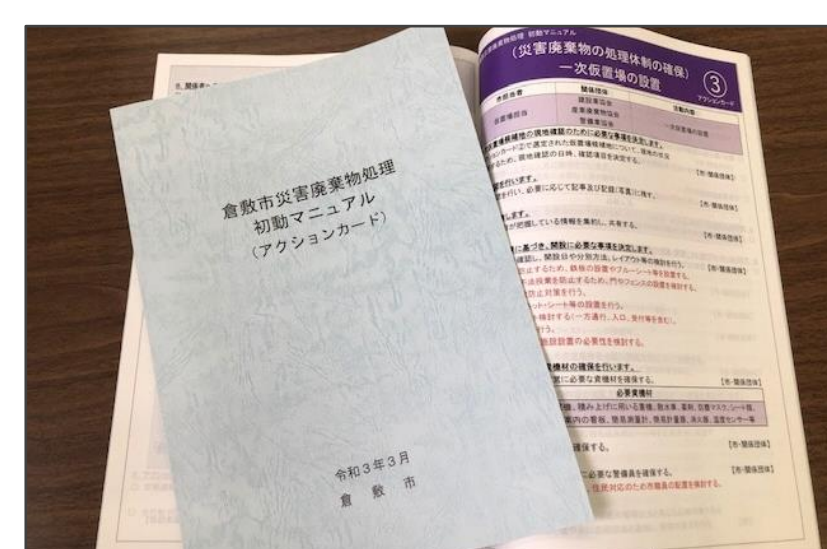
市民版 災害廃棄物処理ハンドブック

冷静に考えられる**平時からの意識**

- ・災害が起こったらどうなる
- ・知っておいて欲しいこと

→ 「**他人事**」から「**我が事**」へ

## 初動マニュアル・図上訓練



倉敷市災害廃棄物処理初動マニュアル

速やかな第一歩を踏み出す**しくみ**

- ・目的、方針の共有
- ・アクションカード（しくみ化）

→ 「**つながり**」から「**やくわり**」へ



SDGs官民連携事業（図上訓練）

まずは**やってみる**こと

- ・「やくわり」の認識
- ・顔の見える関係づくり

→ 「**しくみ**」から「**しかけ**」へ

## 結論・考察

これまでの災害廃棄物処理計画には、いざ災害が起きた時の「**使いこなし**」への落とし込みが不足していた。

→ 計画は策定することで完結するものではなく、それを基に「**取組み**」が進められることで**新たな価値**が生まれる。



今後の災害対策においては、「**取組み**」に中心となって参画する地域の**プレイヤー**を育てることが**カギ**となる。

## 今後の課題

【**社会の変化**】を社会全体で受け止め、未来を切り開く新しい社会（災害に強い地域）をつくる取組みのために必要なことは

→ 地域住民が行政に頼るだけという関係ではなく、地域の

**ステークホルダーが共に取組む「しくみ」**づくり

- 推進員登録制度
- 実務ツールの作成

～ **社会教育の可能性を探る** ～

